

税制抜本改革に向けた
実務面の課題にかかる海外調査について(案)

1. 趣旨

税制抜本改革の具体的な実施に向け、特に執行面・実務面での検討が必要となる事項について、基本的な論点を整理するため、委員数名を海外に派遣して調査を行うこととし、以って企画会合における今後の議論に資することとする。

調査に先立ち、会長及び海外派遣者を中心に勉強会(スタディ・グループ)を開催し、有識者等からヒアリング等を行うことにより、必要な事前準備を行う。

2. 日程

- ・ 5月中～下旬にかけて、2～3回程度有識者ヒアリング等を実施。
- ・ 6月初～中旬にかけて、委員の海外派遣を実施。

3. 派遣対象国(検討中)

米国、カナダ、英国、ドイツ、オランダ等

4. 主な調査内容

- ・ 各国における最近及び今後の税制改正について
- ・ 「給付付き税額控除」制度の実態について
- ・ 納税者番号制度(及びこれに類似する制度)について
- ・ 所得再分配状況及びその把握方法について

以上